

## 大日ヶ岳・銀杏峰

【日 程】 2018年3月17日～18日  
【エリア】 白山山地・越美  
【形 態】 積雪期ハイキング  
【メンバー】 K岡 I田 I籐 M本 Y村N Y村Y  
【報 告】 Y村Y

### ●3月17日(土) 大日ヶ岳/晴れ

#### 【コースタイム】

10:00 ダイナランドスキー場集合  
10:40 リフト降り場から登山開始  
11:00 小休憩  
12:30 山頂  
13:00 下山開始  
14:40 ダイナランドスキー場着  
16:00 檜山荘着(泊)  
距離 6.5km 高低差 695m 累積標高 617m/921m

#### 【概要】

奈良組大阪組とそれぞれ早朝6時に出発し、ダイナランドスキー場へ10時に集合。  
リフト券1回券を購入し、リフトに乗る。  
私たち以外はほぼスノーボーダー客である。  
ザックにスノーシューとヒップソリを付けてリフトに乗ると、  
一緒になったボーダーの男性からスノーシューの事を尋ねられた。  
どうやら初めて目にしたらしく興味津々のようだ。  
リフトを降りると「←登山道」の看板に沿って歩き出す。  
いきなり目の前に、御嶽～乗鞍～焼岳～穂高山脈の眺望が！！  
青空で寒くなく(むしろ暑いくらい)最高の天気だ。  
「今日はゆっくり行きますよ～」とK岡リーダーが先頭を歩き出す。  
早くもなく遅くもなくちょうどいいペースだ。  
20分ほど歩いた辺りでメンバーさんが体調が優れないようで小休止を取る。  
各自衣服調整や水分補給、捕食を摂り、眼下に広がる風景に癒され一息する。  
しばらくして山頂を目指しまた歩き出す。  
前日の雨で雪は固く湿ってこの日はスノーシューの出番はなし！  
と、ツボ足で歩いていたらなんと、一大ハプニングが。  
私Y村の右の冬靴のソールが半分剥がれてペロ～ンとなっている。  
M本さん持参のテーピングテープで応急措置をしてもらい、  
念のためI籐さんのチェーンスパイクを貸してもらった。  
何とかこれで歩けそうだ。  
5年前に購入し冬のシーズンしか履かないので使用回数は夏靴に比べて格段に少ない。  
まさかこんなことになるとは思わず、テープも靴紐も持ってこなかった。  
これには大反省～！  
今回はメンバーのみなさんのおかげで事なきを得たが、そうでなければこの時点で登山終了となっていた。  
これからはテープ・靴紐はザックに入れていこうと思う。



その後靴のソールも気にならず順調に山頂登頂！  
青空が広がり、期待を裏切らないくらいの大パノラマだ。  
白山が近い！  
御嶽～北アルプス、荒島、赤兎、大長、美濃の山々がずらりと見渡せる。  
山頂には登山客の他に山スキー客も何人かおられた。  
スノーシューで登ってスキーで下山のスタイルか？  
装備が大変だなあ・・・でも、颯爽と滑る姿は絵になるなあ～





30分の食事タイムの後、下山開始する。  
ここからはようやくヒップソリの出番だ。  
各自子供に戻ってヒップソリしながら、時折歩きながら、  
気が付いたらあっという間に無事スキー場へ戻っていた。  
スノーボーダーが颯爽と滑走するゲレンデのど真ん中をザック背負ってヒップソリ！  
これはかなり異彩を放っていたのではないだろうか・・・？  
リフト券の預り金 500 円を引き換えてもらい、今晚の宿があるウイングヒルスキー場へ車で  
向かう。

檜山荘では「すき焼き」を二回に分けていただいた。  
暖炉を囲んで美味しい食事にお酒、と山談義？と楽しいひとときである。  
翌朝 6 時出発という事で、20 時には就寝した。

### ●3月18日(日) 銀杏峰/曇り時々晴れ

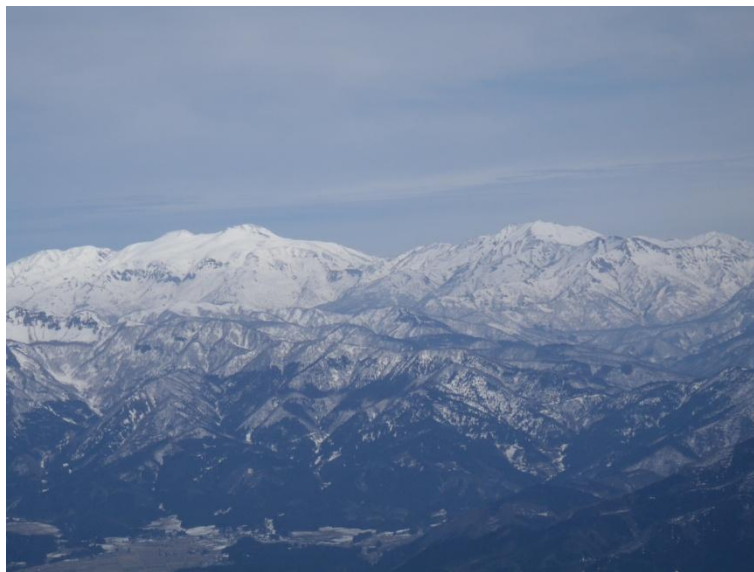
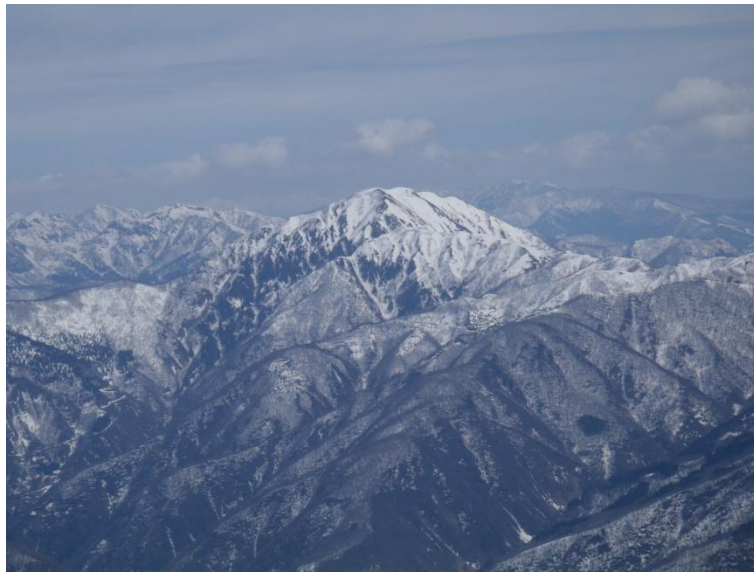
#### 【コースタイム】

06:00 檜山荘出発  
06:45 中部縦貫自動車道通行止め  
07:00 通行止め解除  
08:25 宝慶寺駐車場到着  
08:40 登山開始  
09:20 羽衣の松  
09:44 仁王の松  
10:18 小休憩  
10:45 前山  
12:00 山頂  
12:25 下山開始  
14:15 宝慶寺駐車場  
14:30 解散 ※奈良・大阪へ  
距離 7.4km 高低差 970m 累積標高 1072m/1072m

#### 【概要】

宝慶寺のいこいの森公園から林道を走り、数台しかない駐車スペースに停める。  
道は除雪されているが、かなりの高さの雪壁には驚いた。  
今日の山は、銀杏峰と書いて「げなんぼ」と読む。  
この界隈の山の読み方は難しい。  
8時40分には登山準備をして車道の横から登り出す。  
この日も雪は固くて締まっている。  
各自チェーンスパイク、アイゼン、ツボ足とそれぞれの判断で！  
私は靴の剥がれが気になるため最初から 12 本アイゼンを装着。  
羽衣松、見返りの松、仁王の松と急登が続く。  
だんだんと風もきつくなってきた。  
一旦捕食タイムを取り、これからも続く急登に備える。  
ようやく前山に辿り着いたが、目の前に銀杏峰が見えるがピークは左端のようだ。  
左には荒島岳が、右には部子山、振り返ると白山と大日山。  
あと一時間強くらいか？  
急登の道をまたもや喘ぎながら登っていくと、少し緩やかな尾根道へと出る。

しばらく行くとようやく広い雪原！山頂も近い！！  
右横には真っ白な部子山がすぐ近くに見えテンションが上がる。  
不思議とあれだけきつかった風も止んできた。



ようやく感動の山頂へ到着。  
しかし、本当にだだっー広い！！  
夏は笹で覆われて冬の時期しか歩けないという部子山から一人の男性が歩いてこられた。  
聞くと、山頂から部子山までの往復に約3時間かかったとか。  
縦走するとなると、やはり前夜泊早朝発でないと厳しいようだ。  
風もないので360°の大眺望を楽しみながら落ち着いて食事を摂る。  
まさしく至福の時間である。



さあ、下山はハイペースだ！

途中で先に降りた部子山からの縦走の男性がルートの間違って登り返してこられた。  
この山域は標識もリボンもないので気を付けないといつの間にか外れてしまう。  
私たちが最後のところで林道に出してしまうが無事下山、やれやれよかった！



二日間共にお天気に恵まれ素晴らしい山行でした。  
リーダーさん、サブリーダーさん、参加のみなさまには心から感謝です。  
ありがとうございました。